

■高橋誠一郎 経済学者。浮世絵はじめ、学殖が深く、博覧強記、話術に巧みで、種々の公職に就いて大きな足跡。

たかはしせいいちろう

秩父事件・・・1884＝新潟で、廻船問屋津軽屋高橋次太郎の一人息子に生まれる。

国民之友始・1887＝3歳：先に新生活を求めて第七十四銀行監査役となって横浜に居た父次太郎のもとに、一家をあげて移り住み、この地で成長する。

帝国憲法発布1889＝5歳：

郡司千島探検1893＝9歳：

日清戦争始・1894＝10歳：

子規句歌革新1898＝14歳：慶応義塾普通科に入学，三田の寄宿舎に入り，福沢諭吉に親しく接する。

教科書疑獄・1902＝18歳：

日露戦争終・1905＝21歳：大学部に進み，

アヲキ創刊・1908＝24歳：政治科を首席で卒業して，慶応義塾普通部の教員となる。

伊藤博文暗殺1909＝25歳：同大学予科教員となり，

大逆事件判決1911＝27歳：経済理論・経済学史研究のため，欧州に留学を命ぜられるが，

明治天皇没・1912＝28歳：病を得て，帰国。

第一次大戦始1914＝30歳：\*大学部理財科教員となる。

大暴落・・・1920＝36歳：\_大学令により慶応義塾大学が発足，経済学部と法学部の教授となる。

原敬首相暗殺1921＝37歳：

関東大震災・1923＝39歳：\*震災で，父の代から蒐集してきた古書画・骨董品の類全てを失い，その喪失感を埋めるべく，浮世絵の蒐集を始める。

\_研究業績はすこぶる大きく，

世界恐慌・・・1929＝45歳：\_「経済学前史」，

満州事変・・・1931＝47歳：

五一五事件・1932＝48歳：\_「重商主義経済学説研究」，

帝人疑獄事件1934＝50歳：経済学部長に就任，

二二六事件・1936＝52歳：\_「経済言論」など，著書・論文は多数にのぼる。

日中戦争始・1937＝53歳：

健保+総動員1938＝54歳：退任。\_「浮世絵二百五十年史」，

日米開戦・・・1941＝57歳：

・・・1942＝58歳：以降3年，〔三田学会雑誌〕に，分野別の経済思想史の論説を次々発表。

年金+総武装1944＝60歳：慶応義塾を退職し，名誉教授となる。以後も，講師として出講。

敗戦・・・1945＝61歳：敗戦後，

新憲法公布1946＝62歳：\_戦災で負傷した慶応義塾長小泉信三の残りの任期を，塾長代理・大学総長となり，

新憲法施行1947＝63歳：\_第1次吉田内閣の文部大臣となって，教育基本法の制定にあたる。日本学士院会員となり，

極東裁判決1948＝64歳：\*日本芸術院長・交詢社理事長に就任。この両職の在任期間は30余年に及ぶという異例なものとなる。

朝鮮戦争始・1950＝66歳：文化財保護委員会委員長となり，

55年体制始・1955＝71歳：日本舞踊協会会長。この年から始まった国立劇場実現への過程に携わり続ける。

国連加盟・・・1956＝72歳：退任すると，

なべ底不況・1957＝73歳：映倫委員長に就任，晩年まで続ける。

全国総合計画1962＝78歳：日本浮世絵協会会長となり，没するまで続ける。\_文化功労者。

東京リビック1964＝80歳：勲一等瑞宝章。

大学紛争始・1965＝81歳：

いざなぎ景気1966＝82歳：実現した特殊法人国立劇場の会長となり，オープニングを迎え，以後，歌舞伎俳優養成事業を推進。

石油ショック1973＝89歳：自伝「回想九十年」刊行。勲一等旭日大綬章。

JALハイジャック1977＝93歳：「高橋誠一郎コレクション・浮世絵」全7巻。

革新大敗北・1979＝95歳：\_文化勲章受章。

中曽根内閣・1982＝98歳：\_没した。

慶大出版会「高橋誠一郎～人と学問」，「この人どんな人」，